

Full Swing

第30号 (R4.10.3)

文責：藤田 遼

完全燃焼の合唱コンクール！

29日(木)に合唱コンクールを行いました。この1か月間、ひたむきに取り組んだ成果は、しっかりと歌声に乗っていました。決して「1人」ではできない合唱。仲間と心を通わせ、一つのものを作るということが大きな成長となったはず。中学校生活最後となった合唱コンクールを市民会館の文化ホールでできたこともまた良い経験となりました。子どもたちの感想を少し紹介します。

- 人生最後の合唱コンクールで、みんなで楽しく気持ちよく歌えて最っ高でした！！
- 私は練習するたびにみんなと声がそろってきて、上達しているのがわかって嬉しかった。
- みんなで団結し、一つの歌を歌うことの楽しさがとてもよくわかりました。間違いなく僕のいい思い出になりました。
- どのクラスも一生懸命歌い、一人一人が声を出して堂々と歌っている姿がかっこよかった。
- 昼休みの練習や学年練習で一生懸命声を出そうとがんばっているみんなの姿を見て、自分もがんばらないといけないと思うようになりました。
- 群青の伴奏は難しくて、みんなと合わせて練習するのにとても緊張していました。本番では、力を抜いて伴奏することができ、練習の成果を発揮できました。
- 本番前の体育館で気持ちを高めている4組の熱量・熱気はすごいなと思いました。本番弾いてくださった荒木先生にありがとうの気持ちでいっぱいです。
- 本番は今までで一番できていたと思う。このおかげでクラスの団結力がまた大きくなったのではないかなと思う。
- 本番は緊張したけど、いい合唱がこのクラスでできてよかった。
- 正直最初は、真剣に取り組めていなかったが、細かいところを練習していくにつれて、合唱に対する気持ちが変わっていき、「最後の合唱コンクールをやり切って終わろう」と思うようになっていた。

- 3年間で一番心を燃やし、練習に取り組むことができました。今まで練習してきた仲間を信じて楽しんで歌うことができました。
- 実行委員やパートリーダー、指揮者が的確なアドバイスをしてくれたから、ここまで歌えることができた。
- 練習では音程がわからなくて、「もういや」と思ったこともあったけど、本番では、みんなが一つになって歌えてよかったなと思います。

他の生徒の感想は、次号で紹介します。



